



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松久保 稔 (TEL) 099-273-3859
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	12,215	△1.8	△34	—	76	—	274	—
2020年3月期	12,442	1.7	△210	—	△90	—	△449	—

(注) 包括利益 2021年3月期 291百万円(—%) 2020年3月期 △430百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	70.64	—	5.4	0.6	△0.3
2020年3月期	△116.03	—	△8.7	△0.7	△1.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	11,983	5,217	43.5	1,338.70
2020年3月期	12,387	4,942	39.9	1,274.76

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,217百万円 2020年3月期 4,942百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	865	△190	△92	2,209
2020年3月期	118	△471	21	1,614

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00	34	—	0.7
2021年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00	35	12.7	0.7
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00		—	

(注) 2021年3月期期末配当金の内訳 記念配当 特別配当

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,325	4.9	264	—	286	—	164	—	42.11
通期	12,579	3.0	429	—	468	512.0	264	△3.6	67.98

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	4,746,000株	2020年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	848,389株	2020年3月期	868,889株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	3,891,769株	2020年3月期	3,877,111株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,650	3.0	313	68.4	361	△8.2	△325	—
2020年3月期	7,431	6.9	185	79.6	394	11.1	△236	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	△83.60		—					
2020年3月期	△61.04		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2021年3月期	10,138		4,281		42.2	1,098.45		
2020年3月期	10,343		4,617		44.6	1,190.85		

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,281百万円 2020年3月期 4,617百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	4,259	—	300	—	195	—	50.14	
通期	8,065	5.4	433	19.9	281	—	72.30	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料及び添付資料記載の業績予想に関しましては、本資料の発表時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(単位：百万円)

区分	2020年3月期	2021年3月期	増減額	増減率(%)
売上高	12,442	12,215	△227	△1.8
営業利益	△210	△34	176	—
経常利益	△90	76	166	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△449	274	724	—

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けました。緊急事態宣言の解除後、事業年度第3四半期までは、Go To キャンペーンによる個人消費の押し上げ、自動車を中心とした輸出の進展等により、緩やかな持ち直しが続きましたが、年度後半、新型コロナウイルスの感染拡大が再度の緊急事態宣言に繋がり景気を悪化させている状況となりました。今後感染者増加になれば、社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクがあり、先行きは更に不透明さが増した状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止と安全衛生管理を徹底して、引き続き、「コンプライアンス経営」、「品質・安全の追求」、「研究開発の強化」、及び「海外市場の開拓」の取り組みを積極的に推し進めて参りました。また、工場の安全性・信頼性の指標として、世界で広く認知されている食品安全規格「IS022000」を一昨年の食品部門に続き、水産部門につきましても2020年7月に取得いたしております。

また、水産事業においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、養殖生産自体を抑えたり池入れの時期を延長する動きが一部でございましたが、新規取引先の獲得や受託製品の伸び等もあり、水産事業全体としては前期を上回る事ができております。また食品事業においても、いわゆる巣ごもり需要を取り込む形となり、前年度対比で、業績は伸長いたしました。しかしながら、一方において、食品事業子会社で、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、また水産事業子会社における養殖魚生産販売も、生産不調があるなど厳しい状況が続いております。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高122億15百万円（前期比1.8%減）、営業損失34百万円（前期営業損失2億10百万円）、経常利益76百万円（前期経常損失90百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益2億74百万円（前期親会社株主に帰属する当期純損失4億49百万円）と減収増益となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

① 水産事業

水産事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、外食産業の低迷により、魚の市場価格の下落、生産物出荷の鈍化による水産事業における養殖環境は厳しい状況が続いています。温暖化に伴う夏場の高水温の影響や、それに伴う感染症の発生も多く、これらの対策負担も増しております。

このような状況のなか、エビ飼料類は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、養殖業者が投入の制限をした影響等もあり、前期を下回りました。

その一方、ハマチ飼料類及びマダイ飼料類は、対象魚種養殖の夏場の高水温による斃死の影響はあったものの、新規販売先の獲得、受託生産販売の増加で、前期を上回りました。

子会社におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、種苗生産、養殖事業については、需要の減少の影響から前期を下回り、厳しい事業環境で推移しました。

その結果、売上高は73億73百万円（前期比3.2%減）、セグメント利益は36百万円（前期セグメント損失77百万円）となりました。

② 食品事業

食品事業におきましては、総じてコロナ禍における巣ごもり需要、内食需要の獲得ができ、売上が拡大致しました。

ラーメン類は、外食産業向けの販売が低迷した影響が大きく前期を下回りました。一方で、そうめん類は、海外輸出用の新規採用、他社品薄の状況下で、確実な商品供給を継続した結果の新規採用も重なり、前期を上回りました。カップ類も定期的な新商品提案により大手コンビニチェーンの採用に繋がり、前期を上回りました。また、即席めん類、皿うどん類、カップ類についても、堅調に推移しております。

子会社におきましては、穀粉類等の販売は、既存大口取引先の商品の内製化の影響を受け、減少しました。かき揚げ類は、主要販売先である大手小売店からの受注が堅調に推移しており、またミニかき揚げ商品のリニューアルも奏功し前期を上回りました。また、カレー類及びジャム類は、ジャム類が、若干の減少があるものの、総じてカレー類の堅調な販売が継続しており、量販店を中心に定番商品も安定的に伸長し前期を上回りました。

その結果、売上高は48億41百万円（前期比0.4%増）、セグメント利益は2億91百万円（前期比4.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億4百万円減少の119億83百万円となりました。

流動資産は、1億6百万円増加し62億86百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加5億75百万円、受取手形及び売掛金の減少95百万円、商品及び製品等のたな卸資産の減少3億42百万円等によるものであります。

固定資産は、5億11百万円減少し56億96百万円となりました。主な増減は、建物及び構築物等の有形固定資産の減少2億99百万円、のれん及びその他の無形固定資産の減少79百万円、投資その他の資産の減少1億32百万円によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ6億79百万円減少し67億65百万円となりました。

流動負債は、3億21百万円減少し46億40百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加71百万円、短期借入金の減少4億44百万円によるものであります。

固定負債は、3億58百万円減少し21億25百万円となりました。主な増減は、長期借入金の減少2億64百万円、役員退職慰労引当金の減少3億93百万円によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2億75百万円増加し52億17百万円となりました。

主な増減は、利益剰余金の増加2億40百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ5億94百万円増加し22億9百万円となりました。

各活動におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によって得られた資金は前連結会計年度と比べ7億46百万円増加し8億65百万円となりました。

主な要因は、税金等調整前当期純利益5億50百万円、減価償却費4億35百万円、棚卸資産の減少3億42百万円、減損損失1億95百万円の増加要因があった一方で、債務免除益6億70百万円、役員退職慰労引当金の減少3億93百万円などの資金の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によって支出した資金は1億90百万円（前連結会計年度は4億71百万円の支出）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出3億8百万円があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によって支出した資金は92百万円（前連結会計年度は21百万円の収入）となりました。

主な要因は、短期借入金の増加2億50百万円、長期借入による収入5億59百万円の資金の増加要因があった一方で、長期借入金の返済による支出8億48百万円、配当金の支払額34百万円などの資金の減少要因があったことなどによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	49.4	51.4	41.7	39.9	43.5
時価ベースの自己資本比率	38.8	45.1	29.8	28.2	30.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3.4年	7.4年	—	45.4年	5.4年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	58.3	27.7	—	5.74	48.2

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※ 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※ 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ 2019年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期は、新型コロナウイルスワクチンの供給が進み、市場環境は回復基調に向かうであろうことが想定されておりますものの、一方で、コロナワクチン供給が十分に行きわたらない場合での感染拡大による、更なる緊急事態宣言の発令等による飲食店への時短要請の影響により、外食事業の需要回復は限定的となることも想定されております。

このような状況下において、水産部門の養魚用飼料製造販売におきましては、お客様の多様化した様々なニーズに応えた新たな付加価値商品の開発、及び改良を推進致しますとともに、コスト削減、生産性効率の向上に取り組み、売上及び利益率のアップに努めます。

子会社におきましては、コロナ禍でも堅調であった鮮魚販売は、ヒガシマルグループ間の情報連携を深化させることで更なる拡大を目指します。養殖事業、及び種苗生産販売は魚種のシフト等を図りながら、効率的な生産を目指し取り組んで参ります。

食品部門におきましては、引き続き主力とする「皿うどん類」、「即席麺類」、「カップ類」の拡大を目指します。その中で、食品の麺類の新工場の建設に着手し、2022年春先の新規稼働を目指している所であります。これを機に、生産力のアップを図り、シェア拡大に努めて参ります。

子会社におきましては、各社の主力商品である「カレー」や「きな粉」及び「かき揚げ」等、それぞれの市場にて高評価を得ております。その販売拡大を引き続き押し進めると共に、新商品の開発にも努め、新たな顧客獲得につなげて参ります。

その結果、2022年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高125億79百万円、営業利益4億29百万円、経常利益を4億68百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億64百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの連結財務諸表は、わが国において一般に公正妥当と認められる会計基準に基づいて作成しております。また、連結財務諸表の作成にあたっては、見積もりが必要なものについては、合理的な基準に基づいて行っております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,053	2,534,402
受取手形及び売掛金	1,751,502	1,655,604
商品及び製品	599,867	602,525
仕掛品	467,774	248,987
原材料及び貯蔵品	1,329,319	1,202,507
その他	83,534	52,349
貸倒引当金	△11,528	△9,884
流動資産合計	6,179,522	6,286,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,284,356	1,198,155
減価償却累計額	△3,914,231	—
建物及び構築物(純額)	1,370,125	1,198,155
機械装置及び運搬具	5,954,190	666,194
減価償却累計額	△5,072,824	—
機械装置及び運搬具(純額)	881,365	666,194
土地	2,127,540	2,174,064
建設仮勘定	53,859	101,961
その他	611,210	145,204
減価償却累計額	△459,285	—
その他(純額)	151,924	145,204
有形固定資産合計	4,584,815	4,285,580
無形固定資産		
のれん	243,997	176,825
その他	43,260	31,018
無形固定資産合計	287,257	207,843
投資その他の資産		
投資有価証券	715,325	703,969
繰延税金資産	116,020	59,726
その他	543,646	478,544
貸倒引当金	△39,055	△39,055
投資その他の資産合計	1,335,936	1,203,184
固定資産合計	6,208,010	5,696,609
資産合計	12,387,532	11,983,103

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	566,052	637,958
短期借入金	3,654,527	3,209,872
未払法人税等	113,390	145,227
賞与引当金	161,621	156,324
その他	465,689	490,617
流動負債合計	4,961,280	4,640,000
固定負債		
長期借入金	1,725,734	1,461,059
役員退職慰労引当金	393,023	—
退職給付に係る負債	100,873	101,492
その他	264,231	562,818
固定負債合計	2,483,862	2,125,369
負債合計	7,445,142	6,765,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	443,700	440,432
利益剰余金	4,722,359	4,962,376
自己株式	△950,908	△928,473
株主資本合計	4,819,050	5,078,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	123,339	139,497
その他の包括利益累計額合計	123,339	139,497
純資産合計	4,942,389	5,217,732
負債純資産合計	12,387,532	11,983,103

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	12,442,429	12,215,280
売上原価	10,336,141	10,031,892
売上総利益	2,106,287	2,183,388
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	543,289	542,274
役員報酬	105,511	127,311
給料及び賞与	585,719	558,743
賞与引当金繰入額	62,967	55,157
退職給付費用	27,896	25,274
役員退職慰労引当金繰入額	23,958	6,295
法定福利及び厚生費	114,315	110,931
旅費及び交通費	51,094	21,754
賃借料	3,243	3,434
減価償却費	53,340	56,126
のれん償却額	67,171	67,171
研究開発費	216,081	208,576
その他	462,536	434,828
販売費及び一般管理費合計	2,317,125	2,217,879
営業損失(△)	△210,838	△34,491
営業外収益		
受取利息	7,766	7,700
受取配当金	9,409	9,893
為替差益	—	13,711
受取保険金	41,106	43,213
補助金収入	41,053	22,789
雑収入	62,333	38,593
営業外収益合計	161,669	135,901
営業外費用		
支払利息	19,962	18,214
為替差損	14,563	—
雑損失	6,482	6,596
営業外費用合計	41,007	24,811
経常利益又は経常損失(△)	△90,176	76,598
特別利益		
債務免除益	—	670,000
特別利益合計	—	670,000
特別損失		
減損損失	172,418	195,601
特別損失合計	172,418	195,601
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△262,594	550,996
法人税、住民税及び事業税	181,504	227,399
法人税等調整額	5,754	48,685
法人税等合計	187,259	276,085
当期純利益又は当期純損失(△)	△449,854	274,911
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△449,854	274,911

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△449,854	274,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,001	16,158
その他の包括利益合計	19,001	16,158
包括利益	△430,852	291,069
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△430,852	291,069
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	603,900	458,400	5,207,107	△950,908	5,318,498
当期変動額					
連結子会社株式の取得による持分の増減		△14,700			△14,700
剰余金の配当			△34,893		△34,893
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△449,854		△449,854
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△14,700	△484,748	-	△499,448
当期末残高	603,900	443,700	4,722,359	△950,908	4,819,050

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	104,338	104,338	-	5,422,836
当期変動額				
連結子会社株式の取得による持分の増減				△14,700
剰余金の配当				△34,893
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△449,854
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	19,001	19,001	-	19,001
当期変動額合計	19,001	19,001	-	△480,446
当期末残高	123,339	123,339	-	4,942,389

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	603,900	443,700	4,722,359	△950,908	4,819,050
当期変動額					
剰余金の配当			△34,893		△34,893
親会社株主に帰属する当期純利益			274,911		274,911
譲渡制限付株式報酬		△3,267		22,435	19,167
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△3,267	240,017	22,435	259,184
当期末残高	603,900	440,432	4,962,376	△928,473	5,078,234

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	123,339	123,339	—	4,942,389
当期変動額				
剰余金の配当				△34,893
親会社株主に帰属する当期純利益				274,911
譲渡制限付株式報酬				19,167
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	16,158	16,158	—	16,158
当期変動額合計	16,158	16,158	—	275,342
当期末残高	139,497	139,497	—	5,217,732

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△262,594	550,996
減損損失	172,418	195,601
減価償却費	461,784	435,189
のれん償却額	67,171	67,171
債務免除益	—	△670,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,510	△1,644
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,227	△5,296
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△104,711	△393,023
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,559	618
受取利息及び受取配当金	△17,176	△17,593
支払利息	19,962	18,214
為替差損益(△は益)	14,563	△13,711
売上債権の増減額(△は増加)	76,390	95,898
たな卸資産の増減額(△は増加)	△47,187	342,940
仕入債務の増減額(△は減少)	△202,896	71,906
その他	57,218	370,781
小計	244,218	1,048,050
利息及び配当金の受取額	15,364	17,599
利息の支払額	△20,590	△17,813
法人税等の支払額	△120,349	△182,403
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,642	865,433
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△294,381	284,357
定期預金の払戻による収入	282,236	△264,884
有形固定資産の取得による支出	△422,392	△308,960
有形固定資産の売却による収入	2,654	743
無形固定資産の取得による支出	△21,676	△10,903
投資有価証券の取得による支出	△39,829	△6,480
投資有価証券の売却及び償還による収入	22,966	14,787
その他	△702	100,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△471,125	△190,721
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	975,000	250,000
長期借入れによる収入	790,000	559,000
長期借入金の返済による支出	△1,680,684	△848,330
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△13,335	△18,394
配当金の支払額	△34,893	△34,893
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△14,700	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,386	△92,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,526	12,728
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△344,624	594,822
現金及び現金同等物の期首残高	1,959,082	1,614,458
現金及び現金同等物の期末残高	1,614,458	2,209,281

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会や経営政策会議などにおいて、経営の意思決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の類似性に基づいて事業体系を構築しており、各事業別に製造計画及び販売戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は製品の種類別セグメントから構成されており、「水産事業」及び「食品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「水産事業」は、クルマエビ・ハマチ等の養魚用飼料類の製造販売、タイ・ハマチ等の養殖魚の販売、アユ等の魚類用種苗の生産、クルマエビ・マグロ等の生産であります。

「食品事業」は、麺類、スープ類、カレー類、ドレッシング、きな粉、かき揚げ等の製造販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	水産事業	食品事業	計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,619,222	4,823,206	12,442,429	—	12,442,429
セグメント利益又は損失(△)	△77,804	306,347	228,543	△318,719	△90,176
セグメント資産	5,610,161	4,916,108	10,526,269	1,861,263	12,387,532
その他の項目					
減価償却費	270,862	173,646	444,508	17,275	461,784
のれんの償却額	—	67,171	67,171	—	67,171
受取利息	417	3,010	3,427	4,338	7,766
支払利息	2,957	3,665	6,623	13,338	19,962
減損損失	172,418	—	172,418	—	172,418
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	318,180	124,526	442,707	4,637	447,344

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△318,719千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。
 - (2) セグメント資産の調整額1,861,263千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	水産事業	食品事業	計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,373,729	4,841,551	12,215,280	—	12,215,280
セグメント利益	36,358	291,304	327,662	△251,064	76,598
セグメント資産	5,023,876	4,682,512	9,706,389	2,276,713	11,983,103
その他の項目					
減価償却費	247,680	171,758	419,439	15,750	435,189
のれんの償却額	—	67,171	67,171	—	67,171
受取利息	301	4,725	5,027	2,672	7,700
支払利息	2,727	2,232	4,959	13,255	18,214
債務免除益	670,000	—	670,000	—	670,000
減損損失	51,399	144,202	195,601	—	195,601
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	169,948	117,946	287,894	35,369	323,264

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△251,064千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。
 - (2) セグメント資産の調整額2,276,713千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	水産事業	食品事業	計	調整額	合計
当期償却額	—	67,171	67,171	—	67,171
当期末残高	—	243,997	243,997	—	243,997

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	水産事業	食品事業	計	調整額	合計
当期償却額	—	67,171	67,171	—	67,171
当期末残高	—	176,825	176,825	—	176,825

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,274.76円	1,338.70円
1株当たり当期純利益又は 1株あたり当期純損失(△)	△116.03円	70.64円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たりの当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△449,854	274,911
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△449,854	274,911
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,877	3,891

(重要な後発事象)

該当事項はありません。